

市内の治安について

(質問) 市内の治安の現状と認識、また、刑法犯認知件数を減らすためには、窃盗件数の多い自転車盗の対策をすることが重要ではないか。

(答弁) 刑法犯認知件数は10年連続で減少しているが、犯罪率は県内14市の中で最も高い。今後、さらにコロナ禍に便乗した犯罪の増加も危惧されることから、緊張感を持ち、関係機関、団体と連携して犯罪防止に取り組む。自転車盗を減らすためには施錠が重要である。自転車盗ゼロに向け、チラシでの啓発とともに自転車盗は犯罪であることの発信に取り組む。



新型コロナウイルス感染症の自宅療養者等の支援について

(質問) 第5波では、県の自宅療養者への食糧支援の不着、遅延があった。県内14市中10市では市独自で濃厚接触者なども含め食料品と要望に沿った支援を行っている。生活困窮者の多くは社会的に孤立し、緊急支援を希望する自宅療養・濃厚接触者などに市独自で支援が必要では。

(答弁) 保健師などによる電話相談、窓口での周知に努めている。自宅療養者への生活支援に関しては感染状況などを踏まえて考えていく。

その他の質問 ○コロナ感染症関連の支援策等の情報発信 ○学校施設長寿命化計画



学力と基礎的読解力について

(質問) 中高生の基礎的読解力の調査の結果、「中学生の半数は教科書が読めていない状況」「中学卒業までに教科書をきちんと読めるようにすることが教育の課題」とある。ICT技術が発達した現代でも必要な、学力の基礎である読解力について学校現場での取り組みを問う。

(答弁) 全国学力検査の結果でも、本市の児童生徒は読解力について課題があるとされた。鈴鹿市教育委員会として教科書を活用した授業改善や、教科横断的な学習の定着などに力を入れていきたい。

その他の質問 ○サッカースタジアム工事



鈴鹿市の防災・減災の取り組みについて

(質問) 防災・減災施策および防災意識の向上について、本市の取り組み状況を問う。

(答弁) 防災・減災施策を推進するためには、市民一人一人が、過去の災害の記憶を風化させることなく、災害への備えの必要性を認識することが、施策推進の起点になると考えている。今後も防災啓発を通じて個人や地域の防災意識の向上を図り、危険な場所から一刻も早く避難する行動や住民同士の声掛け、避難誘導などの共助活動につなげていく。

その他の質問 ○新型コロナウイルス第6波の対応



市内業者への電子入札システム導入支援体制について

(質問) 導入への不安や負担に対する支援や、普及拡大を促すための考えは何か。

(答弁) 3月4日の公告から本市における電子入札が始まった。対応への準備期間として、令和4年8月までは郵便入札と併用実施する。利用者登録があれば、トラブルの際、9月以降も郵便入札が可能である。説明会の動画配信も行っている。9月からの電子入札へ円滑に移行できるよう、制度の周知や機器操作の習熟支援に取り組む、普及・拡大に努める。

その他の質問 ○市民に不満の出ない行政側インターネット環境 ○男女共用トイレ



子育てで選ばれる市になるには

(質問) 日本経済新聞で共働き子育てしやすい街ランキング46位までを公表。四日市市21位、松阪市29位、本市は公表ランク外。子育て支援が人口増加に直結するとして支援策を紹介。結果を真摯に受け止め、支援策を強化すべきでは。

(答弁) 子育てで選ばれるために、共働きの方が利用しやすい保育環境の整備、情報の分かりやすい発信など、ニーズの把握を行い、他市の施策も参考に、本市の最重要施策として子育て支援施策に取り組む。

その他の質問 ○デジタル田園都市国家構想推進交付金事業の取り組み

